

令和7年度第1回一関小・桜町中学校学校運営支援協議会

日時:令和7年5月9日(金)

13:00~14:30

会場:桜町中学校

< 次 第 >

委任・委嘱状交付

<授業参観>

13:40~14:10

- 1 開 会
- 2 校長挨拶(桜町中・一関小)
- 3 学校運営支援協議会について
役員互選(会長1人・副会長3人)
- 4 学校運営の基本方針について(一関小・桜町中)
- 5 今年度の予定(案)について
- 6 その他
- 7 閉 会

出席者

【学校運営支援協議員】

1	武田 勝 郎	17区行政区長 R6学校運営支援協議会委員長	欠
2	伊 藤 文 男	17区役員	
3	齋 藤 宏 一	16西区行政区長	
4	百々 正 博	14区行政区長	
5	千 葉 美佳子	南小学校 地域支援コーディネーター	
6	千 田 広 子	主任児童委員	
7	阿 部 徹	狐禅寺市民センター所長	
8	菅 原 照 之	桜町中学校同窓会長	欠
9	関 東 禎 志	一関小PTA会長	
10	小 山 麻理子	桜町中PTA会長	

【学校職員】

1	菅 原 正 樹	一関小学校 校長	
2	勝 部 孝 行	桜町中学校 校長	
3	柳原 和歌子	一関小学校 副校長	
4	千 葉 孝 行	桜町中学校 副校長	
5	三 浦 聖 子	地域コーディネーター	

学校運営支援協議会について

1 概要について(一関市学校運営支援協議会規則より)

- ① 名称は「学校運営支援協議会」
- ② 目的は「学校と地域住民、保護者が協議することにより、地域住民等の学校に対する支援及び協力を促進し、学校と地域住民等の信頼関係を深め、持って学校運営の改善並びに児童生徒の健全育成を図る」こと。
- ③ 学校ごとに置くが小中学区で置くこともできる。
- ④ 委員は15人以内

例) 地域住民 ・保護者 ・校長 ・教職員 ・学識経験者 ・関係行政機関の職員

・その他教育委員会が必要と認める者
- ⑤ 任期は4月1日～3月31日の1年 再任を妨げない。
- ⑥ 会長、副会長は委員の互選。

2 会議の主な内容

- ・学校運営基本方針の説明、承認
- ・学校運営状況の報告、学校への支援(ボランティア等)や協働推進などの意見交換
(学校安全、授業、環境整備の支援 地域防災、読書活動の共同推進 等)

【R7 年度役員】

会長	
副会長 (3人)	

令和7年度 一関市立一関小学校 学校教育目標具現化構想図

◎ 学校教育目標

学校教育目標

【基本目標】

知性と豊かな心に富み、たくましい**実践力**に充ちた心身ともに健康な児童を育成する。

【具体目標】

- ① よく学び 工夫する子ども <かしくく>
- ② 健康で 明るい子ども <あかるく>
- ③ きまりを守り 助け合う子ども <なかよく>
- ④ 責任をもち やりぬく子ども <たくましく>

【重点】

- ・ 一人一人の子どもは未知の可能性を秘めた存在であることを踏まえ、**一人一人が活躍できる場**を設定し、健康でたくましく生き抜く心と体を鍛え、自立心の基礎を養う。
- ・ 他者のために行った行為で他者が喜んでくれることが自己の喜びとなり、そのことが、**自己肯定感**の高まりにつながる児童を育成する。

◎ めざす姿

〈めざす子どもの姿〉

- かしくく**
 - ・ 筋道を立てて考え、根拠を話すことができる子ども
 - ・ **話をよく聞き**、自分の思いを相手に伝えるように話す子ども
 - ・ 生きて働く知識・技能を身に付けた子ども
 - ・ 学んだことを様々な場面に生かそうとする子ども
- あかるく**
 - ・ 明るい返事や挨拶ができる礼儀正しい子ども
 - ・ 失敗を恐れず前向きに取り組む子ども
 - ・ 健康で安全な生活のため、自ら判断し行動できる子ども
- なかよく**
 - ・ 集団生活のルールを意識し行動できる子ども
 - ・ 決められた時間や時刻を遅れて守る子ども
 - ・ 自他の個性を認め、励まし合い助け合う子ども
- たくましく**
 - ・ 自分の仕事を責任をもってできる子ども
 - ・ みんなのために進んで行動できる子ども
 - ・ めあてに向かって根気強くがんばる子ども

〈めざす学校の姿〉

明るく活気があり、一人一人が主人公となるような充実した授業や諸活動が展開され、児童が毎日の登校を心待ちにする学校

〈めざす教職員の姿〉

使命感をもってひたむきに研修に励むと共に積極的に授業改善や業務改善に取り組み、児童の望ましい成長に指導力を発揮し、勤務校に誇りをもてる教職員

- ・ 子どもに寄り添い、子どもと共に成長する教職員
- ・ 子ども、保護者との信頼関係を基本とする教職員
- ・ 謙虚で思いやりがあり、協働する教職員
- ・ 自らの使命を自覚し、常に研修や実践に励む教職員
- ・ 歴史と伝統に学び、新たな創造に努める教職員

◎ 経営の重点と努力目標

(1)基礎学力の定着と学力保障

- ア 「児童の学力は授業で」を基本とした授業改善による授業の質の向上
 - ① 調査問題から求められる学力の姿をイメージしての授業改善
 - ② 「問い」や「思い・願い」を引き出した課題設定
 - ③ 研修や問題の活用及び日常とのつながりの意識化
 - ④ 思考過程や表現方法の振り返り
 - ⑤ 振り返りシートや小テスト等による随時評価
- イ 「ことばの時間」「百ます計算」の実践
- ウ 大型提示装置とタブレットの効果的な活用

(2)学級・学年経営の充実

- ア 学級・学年目標の設定と目標達成に向けて取り組む過程の重視
- イ 明るいあいさつ、丁寧な言葉遣い、響く歌声、環境美化等による望ましい教育環境の形成
- ウ 児童の状況把握、発達段階・目的に合わせた学級・学年経営の重視
- エ 客観的な調査(Q-U)等を効果的に取り入れた個への配慮と望ましい学級集団の育成

(3)研究・研修の充実

- ア 国語科・算数科における学習指導要領の目標に即した授業研究の深化
- イ 総合訪問の機会を活用した国語科算数科以外の教科研究
- ウ 各種研修会、講習会、研究会への積極的に参加による自己研鑽

(4)豊かな人間性の育成

- ア あらゆる場を活用した**人権教育**の推進による「**人権感覚**」の育成
- イ 「道徳」の時間の充実と道徳の全体計画の中で道徳性の育成
- ウ 読書指導への積極的な取組(ボランティアとの連携)

(5)生徒指導の充実

- ア 生徒指導の三機能である「自己存在感の育成」「共感的人間関係の確立」「自己決定の場づくり」を取り入れた学級経営、児童会活動への取組
- イ 全校体制による規範意識の向上
- ウ 異年齢集団での活動を取り入れた、児童の社会性や望ましい人間関係の育成
- エ 危機管理意識の醸成と、問題や課題に対しての迅速な状況把握と組織的な対応
- オ 保護者からの訴えと保護者へ報告するレベルの事案についての迅速な情報共有と組織的な対応
- カ S Cとの情報共有と連携の強化

(6)体力向上と健康づくり

- ア 体力・運動能力の向上に向けた日常の授業の工夫と年間を通した様々な運動への取組
- イ 生涯体育の基礎とした運動の楽しさの習得と指導の推進
- ウ 健康づくりのための環境整備と安全確保(食育指導の充実、安全な生活のための指導の充実、疾病の予防と早期治療の実助等)

(7)「復興教育」の実施

- ア 「自分の命は自分で守る」を基本にした防災・安全について意識化と、行動しようとする態度の育成
- イ 「生きる」「かかわる」「そなえる」を教育活動全体に位置付けた指導の充実

(8)特別支援教育の充実

- ア 障がいをもつ児童の困り感の把握と個の発達に合わせた支援計画の作成及びその指導・支援
- イ 特別支援コーディネータを中心とした、特別支援教育に関する校内研修の充実と通常学級との望ましい交流の在り方についての検討
- ウ 通常学級におけるユニバーサルデザインを取り入れた学級経営と教科指導の推進
- エ 特別な支援を必要とする児童とその保護者へのアプローチ
- オ 特別な支援を必要とする児童の情報の6年間における円滑な引き継ぎ体制の整備
- カ 教育委員会をはじめとした外部機関との効果的な情報共有

(9)家庭・地域との連携

- ア 児童の安全確保に向けた協力体制の確保
- イ 児童の教育について相互理解と連携(同一課題を共有できる通信等による情報の発信)
- エ 目標達成型の学校経営を実現させるためのPDCAサイクルを意識した学校評価を定期的に実施と地域や保護者との協共有

校外部人材の活用

- ア 地域の素材・人材の活用による体験学習の充実
 - ① 教育的見地からの地域素材の教材化
 - ② 地域の人材の把握
 - ③ 効果的なゲストティーチャーの活用による授業の展開
- イ 出前授業や出前講座等の積極的な活用
- ウ 学校以外での活動の場の積極的な情報提供

1月提案



令和7年度

関小学びフェスト



一関市立一関小学校

学校教育目標

知性と豊かな心に富み、たくましい実践力に充ちた、心身ともに健康な子ども

よく学び工夫する子ども

健康で明るい子ども

きまりを守り助け合う子ども

責任をもちやりぬく子ども

めざす子ども像

- ・筋道を立てて考え、根拠を話すことができる子ども
- ・自分の思いを相手に伝えるように話す子ども
- ・生きて働く知識・技能を身に付けた子ども
- ・学んだことを生かそととする子ども

- ・明るい返事や挨拶ができる礼儀正しい子ども
- ・失敗を恐れず前向きに取り組む子ども
- ・健康で安全な生活を送るため、自ら判断し行動できる子ども

- ・集団生活のルールを意識し行動できる子ども
- ・決められた時間や時刻を進んで守る子ども
- ・自他の個性を認め、励まし合い助け合う子ども

- ・自分の仕事を、責任をもってできる子ども
- ・みんなのために進んで行動できる子ども
- ・めあてに向かって根気強くがんばる子ども

学校の到達目標

めざす子どもを実現するために、関小では次のような到達目標を決めて取り組んでいます。

- ◎学力向上をめざします
…各種(国、算)調査で県比、全国比目標105
- ◎わかる授業を目指します
…児童の肯定的評価目標85%
(取り組み)
- ① 基本的な学習過程を定着させ、自分の考えを表現できる授業に努めます。
- ② 関小メソッド(音読・漢字・計算)を効果的に取り入れ、集中力と基礎力を高めます。

- ◎「先に(進んで)挨拶・張りのある声での返事・靴そろえ」ができるようにします
…児童の肯定的評価目標85%
- ◎体力・運動能力を高めます
…全国比目標100(重点・持久走)
…児童の肯定的評価目標85%(外遊等)
(取り組み)
- ① できている学年や学級等を称賛し全体に広めていきます。
- ② 日常的に様々な運動に取り組むとともに外遊びを実施します。

- ◎「わかることば」を使います。
…児童の肯定的評価目標85%
- ◎学校のルールを守ります。
(廊下歩行、チャイム席)
…児童の肯定的評価目標85%
(取り組み)
- ①「わかることば」を使っている児童を称賛・紹介し広げていきます。
- ② 児童会や学年等の取組を通じて、望ましい学年・学級集団をつくります。

- ◎時間いばい「清掃」します。
…児童の肯定的評価目標85%
- ◎学級当番活動に責任をもって取り組みます。
…児童の肯定的評価目標85%
(取り組み)
- ① 時間いばい「無言清掃」に取り組みます。
- ② 自主的に活動できるよう取組を工夫します。

家庭と連携して

- ◎家庭学習を毎日続けます
- ◎適正なメディアコントロールを行います
- ① ディスプレイ視聴は2時間以内になります。
- ② 夜8時にはスマホ・タブレット・ゲーム機を保護者に預けます。

- ◎「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣化を目指します。
早寝 1-3年は午後8時まで
4-6年は午後9時半までに
早起き 午前6時半までに
- ◎「先に挨拶、張りのある声での返事、靴そろえ」に取り組めます
『おはようございます』『こんにちは』等

- ◎相手の心を温かくする言葉遣いをします
『ありがとう』『大丈夫?』『ごめんね』『おかげさまで』等

- ◎家の手伝いを続けます。
① 家での手伝いを決めます。
- ② 毎日続けます。

外部機関や、地域の力を借りながら心豊かな子どもを育てます。

- 《外観視察を活用した学びの充実》
- 1 人材、団体、自然、地域文化財、施設等の有効活用
- 2 子どもたちの活動の場を広げるための情報発信

- 《学校運営支援協議会》
- 1 積極的な教育活動への支援
・学習ボランティアの活用
(図書館、各教科、読み聞かせ等)
- 2 学校と地域で育てたい子ども像の共有
- 3 地域への情報発信と活動への積極的な参加を要請

- 《健脚通学・徒歩・スクールバスによる安全な登下校支援》
- 1 子ども見守りボランティアとの連携による、子どもたちの安全な登下校の確保や感謝の心、正しい歩行、挨拶などの公共マナーの定着
- 2 子ども110番の家の確認と活用

※12月に評価を実施し、翌3月に公表いたします。

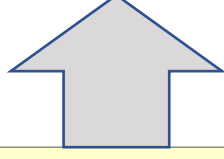


令和7年度 一関市立一関小学校 職員働き方改革アクションプラン

～教育の質の向上とワークライフバランスを考慮した業務改善と役割分担の見直し～

一関小学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

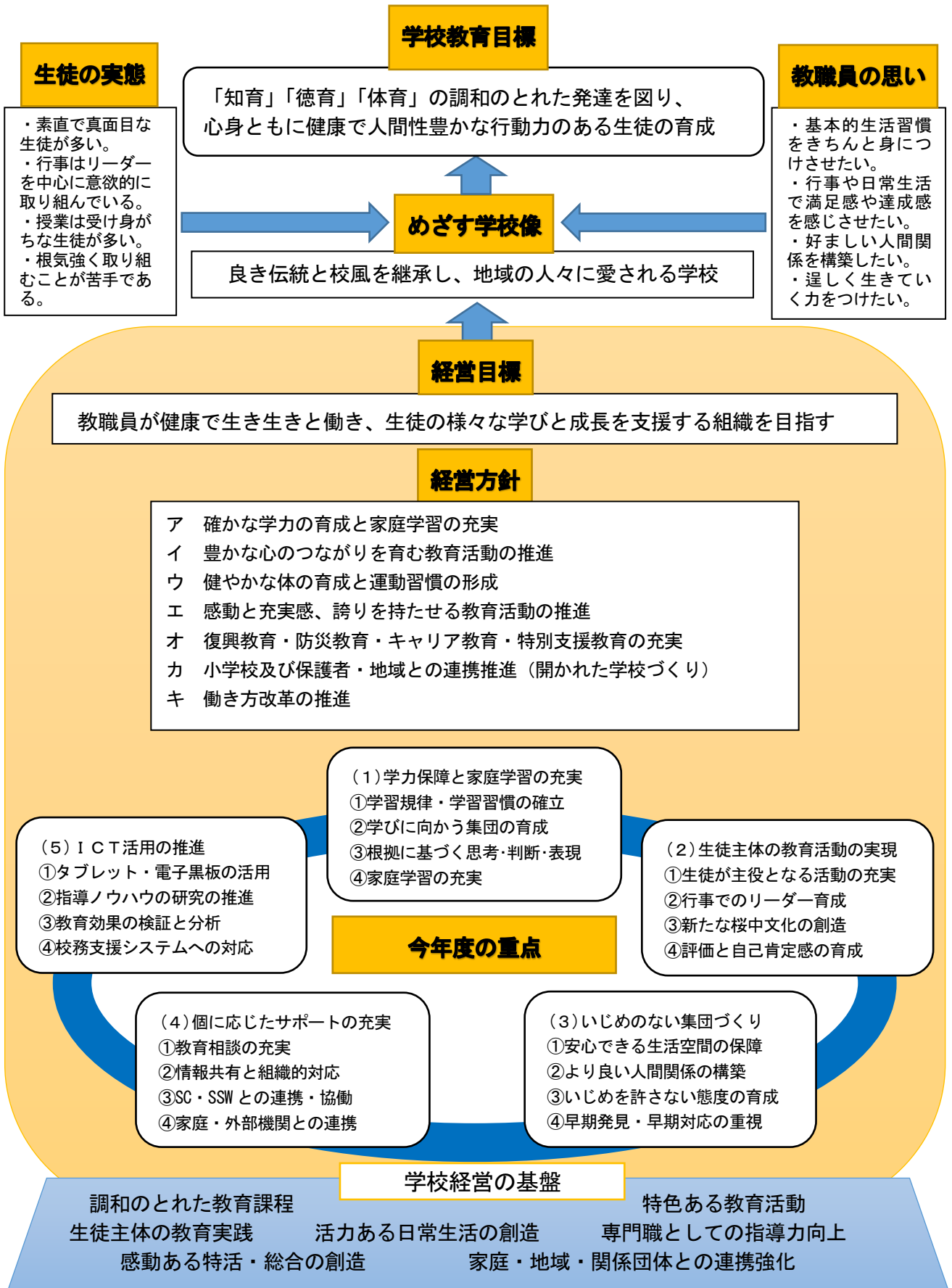
1 現 状
<p>【教職員の3月の勤務状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①月45時間以上の残業者数（6人） ②月80時間以上の残業者（0人） ③在校等時刻が午後8時を超えたのべ教職員数（26人） ④所属教職員の月平均残業時間を報告（30時間） <p>【働き方改革を進める上での課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や教育活動等の見直しを図ること。 ・労働安全衛生委員会を働き方改革のために十分に機能させること。 ・業務改善を行う上で保護者や地域への説明と理解を得ていくこと。



2 目 標 ・ 目 指 す 姿
<p>【R7年度目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育の質の向上とワークライフバランスを考慮した上で様々な活動や役割分担を見直し、得られた時間により教育の質の向上を目指す。 <p>○最終退勤時刻目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の残業をできるだけ減らし、最終退勤時刻の目標を19時に設定し取り組む。 <p>○学校における業務改善の推進目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員が業務改善の視点をもって教育活動等の見直しを図る。 <p>○教職員のワークライフバランスを意識した働き方改革の推進目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の時間外勤務時間を前年度比月平均10%以上削減する。

3 目 標 ・ 目 指 す 姿 を 達 成 し て い く た め の 具 体 的 取 組 内 容	
○教職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務状況を把握し、個別の声かけや業務の見直し改善につなげる。 ・前期、後期それぞれに全職員と個別面談を行い、職員の心身の健康を把握するとともに適切な指導を行う。 ・問題が起きた際は組織的に早期対応すること、問題が長期化しないようにする。
○学校における業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善に係る職員の意見を集約したものを労働安全衛生推進委員会において検討したうえで労働安全衛生委員会を開催する。 ・校務支援システムを積極的に活用する。 ・押印を可能な限り省略する。 ・会議資料のペーパーレス化を図る。 ・外部からの時間外電話対応終了時刻を決める。 ・通信等は、「まなびポケット」や学校ホームページを併用する。
○学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校の見守り等は保護者や地域に依頼する。 ・保護者に依頼する際には、校報やPTA役員会等を通じて丁寧に説明する。 ・作品応募は可能な限り希望者とする。 ・学校行事以外の大大会への参加は保護者の責任のもとで行う。 ・学校集金を口座振替とする。 ・これまで教員が担っていた業務の一部をスクールサポートスタッフ等を活用して対応していく。

【令和7年度桜町中学校経営方針の概要】





令和7年度 桜町中学校

まなびフエスト

真善美
の具現

〔明日を担う桜中生に 生きる力 を育てるためのプラン〕

- ★は本校教育目標
- ◆は具体目標
- は目標達成のための関連取組・内容

実践

行動力のある生徒の育成

★規律を重んじ協力して実践する生徒に

体

健康で明るく

★気力のある生徒に

- ◆心身の健康 → 元気に毎日登校
- ◆生活リズム → 7時間睡眠で朝食
- ◆生命尊重 → 登下校の無事故
- ◆部活動 → 無断欠席ゼロに

徳

豊かな心の育成

★心豊かで
思いやりのある生徒に

- ◆爽やかな挨拶 → 4原則の意識
※アイコンタクト、聞こえる声、スマイル、積極的
- ◆思いやりの心 → いじめの撲滅
- ◆ハーモニーの美 → 積極的に合唱
- ◆心を耕す読書 → 月2冊以上

知

確かな学力の育成

★思慮深く
創造性のある生徒に

- ◆授業の基本 → 3分前学習の徹底
- ◆家庭学習 → 平日2時間以上
- ◆各種検定 → 自己の可能性に挑戦
- ◆生活の自律 → 居間9ルールの徹底
※夜9時以降はスマホやゲームは居間に置き使わない

- 毎日の健康観察、規則正しい生活、食育指導、生と性の授業
- 教育相談の充実
- 交通安全教室、登下校指導、危険箇所
- 交通安全教室、登下校指導、危険箇所の点検、実践的避難訓練の実施
- 異年齢集団による活動、自主的自治的
- 活動、個性の伸長、学校生活の充実

- 道徳教育の充実、授業の中での生徒指導、互いを認め合う雰囲気、自己肯定感の醸成、師弟同行の清掃
- 生徒会活動の推進、関係団体との連携
- 学級合唱の日常化、特設合唱部の取組
- 図書館の活用推進、朝読書の取組

- 「授業の基本」の徹底、自治的活動による学習集団づくり、授業改善の推進、
- 授業と連動した家庭学習、家庭での生活リズム、宿題と自主学習
- 検定受検を通じた学習意欲の喚起、個に応じた学習の支援
- 情報モラル教育の推進、家庭との連携

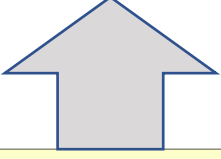
学校・家庭・地域の連携、協働

令和7年度 一関市立桜町中学校 職員働き方改革アクションプラン

～ 誰もが健康で生き生きと働ける職場を目指して ～

桜町中学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状
<p>【教職員の勤務状況】（R7年3月の状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 月45時間以上の残業者数（2人） ② 月80時間以上の残業者（0人） ③ 在校等時刻が午後8時を超えたのべ教職員数（0人） ④ 所属教職員の月平均残業時間（2.4時間） <p>【働き方改革を進めるうえでの課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の時間より生徒のためになると考え、勤務時間を過ぎても働いている教員が多い。 ・ 保護者や地域の力を教育活動に上手く生かせず、結局すべてを教員・学校が担ってしまっている。



2 目 標 ・ 目 指 す 姿
<p>【R7年度目標】</p> <p>教職員が健康で生き生きと働き、生徒の様々な学びと成長を支援する組織を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 最終退勤時刻目標 残業をできるだけ減らし、午後8時には退勤できるようにする。 ○ 学校における業務改善の推進目標 緊急性の高い業務から優先順位をつけ、計画的かつ効率的に仕事を進める。 ○ 教職員のワークライフバランスを意識した働き方改革の推進目標 仕事のONとOFFをはっきりさせ、心身のリフレッシュを図る。

3 目 標 ・ 目 指 す 姿 を 達 成 し て い く た め の 具 体 的 取 組 内 容	
○ 教職員の健康管理	○ 学校における業務改善の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤務時間の適正管理 勤務時間の実態把握を正確に行うとともに、時間外勤務の多い職員とは面談を行う。 ・ 労働安全衛生体制の確立 安全点検等、適正な労働環境の保持に努める。 ・ 健康診断結果の活用 疾病の予防や早期発見・早期対応に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バランスの取れた校内分掌組織の確立と実態に応じた柔軟な組み替え 特定の職員に業務が集中しないようにする。 ・ 慣例的な業務の見直しと業務の効率化 今まで通りで済ませないで、より効率的にできないか常に考えていく。 ・ 校務支援システム導入による執務環境の改善
○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務の仕分けと家庭・地域等との連携 学校・教師がしなければならないこと、家庭や地域等に協力をお願いすることなどを明確にして業務の適正化を進める。 ・ 部活動の地域移行への推進 活動方針の周知徹底と地域移行を見据えた部活動の在り方を検討する。 	

今年度の予定（案）

「地域と共にある学校」

学校が目指したい3つの柱	地域との連携しながらの取組
① 地域と連携した円滑で質の高い学校活動の実現	地域ボランティアマネジメント
② あいさつができる児童生徒の育成	あいさつ向上の取組
③ 児童生徒の安全向上と感謝の気持ちの育成	安全見守りの可視化

<予定>

5月	9日	第1回学校運営支援協議会（桜町中学校）※授業参観有	<div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 学校支援事業 (ボランティア) 4月～2月 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="background-color: #008000; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">小学校担当</div> </div>
6月			
7月		・おはよう day 通知回覧依頼 (PTA 安全委員→地区長)	
8月		・おはよう day 回覧・集約 (各地区)	
9月		・おはよう day 通知 (保護者)、参加人数集約、プレスリリース	
10月	2日	第1回一斉おはよう day	
11月	10日	第2回学校運営支援協議会（一関小学校）※授業参観有 ・おはよう day 通知回覧依頼 (地区長宛)	
12月		・おはよう day 通知回覧 (各地区)、通知 (保護者)	
1月		・おはよう day 参加人予定人数集約、プレスリリース	
2月	3日	第2回一斉おはよう day・感謝のお手紙渡し (小学校)	<div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="background-color: #008000; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">中学校担当</div> </div>
	25日	第3回学校運営支援協議会（桜町中学校）	



教 成 館

関小だより

【学校教育目標】

- よく学び工夫する子ども
- 健康で明るい子ども
- きまりを守り、助け合う子ども
- 責任をもちやりぬく子ども

気持ちのよい挨拶と感謝の気持ちを伝えた「おはようday」

2月4日（火）一関小・桜町中、学校運営支援協議会主催による、「第2回一斉おはようday」の取組を行いました。当日は雪がちらつく寒い朝となりましたが、100人を超える地域や保護者の方々にご協力いただき実施することができました。ありがとうございます。子供たちは登校中に設けた12カ所の挨拶ポイント等で、見守ってくださっている方々に心を込めて書いた感謝のお手紙を、感謝の言葉を添えて手渡しました。



見守ってくださっている方々に温かく受け取っていただき、寒い朝でしたが心温まる朝となりました。

この取組は昨年度に引き続き2年目となります。当初、挨拶ポイント6カ所でスタートした「一斉おはようDay」は、多くの方々から賛同の声が寄せられ、今回は12カ所に増やしての実施となりました。挨拶は相手とのコミュニケーションの第一歩です。挨拶することで、子供たちも地域の方もお互いを身近に感じることができたのではないかと思います。

子供たちの中には、学校外の挨拶についてハードルが高く十分に挨拶を返すことができない子供もいますが、ほとんどの子が相手を見て軽く頭を下げることで挨拶の気持ちを伝えることができるようになってきています。学校ではこれからも相手に伝わる気持ちの良い挨拶について子供たちに声かけをしていきますので、温かく見守っていただければと思います。



登校見守りありがとう 一関小児童 地域の人に手紙

一関市立一関小学校（菅原正樹校長、児童597人）の児童は4日、学区内で登校する児童の安全を見守り続けてきた地域の人たちに感謝の気持ちをつづった手紙を贈った。

同校と桜町中学校合同の学校運営支援協議会が同日行った2024年度第2回「一斉おはようday」の中での企画。学区内の主要交差点や校門、スクールバス乗り場など12カ所で見守り活動を行う地域の人たち約100人へ、登校中の児童が「安全のため見守ってくださりありがとうございます」「体に気をつ

けてください」「自分もこれから下級生を見守ります」などとしたためた手紙を手渡した。

一関小では「地域の安全を守る方々とのつながりを深めよう」プロジェクトと銘打ち、22年度に同様の活動をスタートさせた。

菅原校長は「取り組みを始めて以降、登校中の交通事故は発生しておらず感謝している。今後も地域の方々の協力を頂きながら、感謝の気持ちを込めて自然にあいさつを交わらせる子どもたちを育てていきたい」としている。



通学路などで登校時の見守りを行っている人たちに感謝の手紙を渡す一関小児童（左）

【2月7日付 岩手日日新聞】

一関小・学校支援会報

編集：一関地域コーディネーター

一関市まちづくり推進部いきがづくり課



令和6年度 第3号

令和7年2月27日発行

～ご協力ありがとうございました！～

✧ 今年度の活動を紹介します ✧

4月	1年生 給食見守りボランティア 全14回
	ミシンメンテナンスボランティア
	1年生 交通安全教室見守りボランティア(歩行)
	5年生 交通安全教室見守りボランティア(自転車)
5月	クラブ活動指導ボランティア【琴・茶道】 全8回
6月	1年生 校外学習見守りボランティア(遊水地公園)
	1年生 スポーツテスト計測ボランティア
	2年生 校外学習見守りボランティア(大町探検)
	5年生 裁縫学習サポート 全4回
	6年生 総合学習「平泉文化遺産について」講話
7月	プール清掃
	5年生 裁縫学習サポート 全5回
9月	1年生 交通安全教室見守りボランティア(歩行)
	1年生 校外学習見守りボランティア(一関運動公園)
	2年生 校外学習見守りボランティア(平泉町 観自在王院跡)
11月	1年生 校外学習見守りボランティア(釣山公園)
	2年生 校外学習見守りボランティア(大町商店街探検)
	3年生 総合学習「ボランティアについて」講話
12月	2年生 校外学習見守りボランティア(一関市立図書館)
通年	読み聞かせボランティア 不定期 火曜日 全14回
通年	図書ボランティア【図書室作業】 第2・4木曜日 全13回
通年	登下校見守りボランティア 11



～図書ボランティア～

昆虫装飾で図書室が明るく！



ボランティアのみなさんによる、カラフルでたくさんの昆虫が並んだ装飾です。子どもたちに自然や昆虫に興味を持ってほしいという思いで制作しました。



ベルマーク点数で図書購入



ボランティア委員会の子どもたちが切り取ったベルマークをボランティアの方々が集計し、図書を購入しました。不要なパソコンリサイクルを利用し、学校にベルマークの点数を送ってくださった地域の方もいらっしゃいました。



計30冊 34,705円

～読み聞かせ～

昼休みを利用して、低学年に向けた読み聞かせの様子です。子どもたちが本への関心を持てるよう取組を行っています。子どもたちはよく集中し、反応も抜群です。ボランティアのみなさんの選書のレパートリーも豊富で、子どもたちは、様々なジャンルの本に触れ合うことができます。



～ 学校支援活動のご報告とお礼 ～

今年度も地域のみなさまと一関小学校が連携し、多くのみなさまに子どもたちを温かく見守っていただきました。

子どもたちは、地域とのかかわりを持ち、また「ボランティア」について理解を深めるきっかけにもつながっています。

充実した活動ができましたことに心より感謝申し上げます。

随時【学校支援ボランティア】を募集しています。

興味のある方は、下記担当までお問い合わせください。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。



【担当】 一関小学校 副校長または地域コーディネーター 三浦

12

TEL : 23-5016

令和7年度

一関市立一関小学校年間行事計画

R7年3月17日版

※今後変更の可能性もあります。変更については、学年通信の月予定でご確認ください。

Table with 12 columns: 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月, 1月, 2月, 3月. Each column contains dates, events, and school holidays.

一関小・桜町中学校学校運営支援協議会

令和6年度より一関小学校と桜町中学校の合同による学校運営支援協議会としてスタートしました。「3つの柱」をテーマに、小中合同での活動の在り方を検討しながら、学校の運営の改善並びに児童生徒の健全育成を、地域と共に図りました。

令和6年度
令和7年4月30日発行

1つ目の柱～地域と連携した円滑で質の高い学校活動の実現～

地域コーディネーターが中心となり、活動回数述べ74回、多くのボランティア参加者のご協力をいただき質の高い学校活動を実現しています。

図書ボランティア



昆虫装飾で図書室が明るく!

ボランティアのみなさんによる、カラフルでたくさんの昆虫が並んだ装飾です。子どもたちに自然や昆虫に興味をもってほしいという思いで制作しました。



ベルマーク点数で図書購入

ボランティア委員会の子どもたちが切り取ったベルマークをボランティアの方々が集計し、図書を購入しました。不要なパソコンリサイクルを利用し、学校にベルマークの点数を送ってくださった地域の方もいらっしゃいました。

計 30冊 34,750円



読み聞かせ

昼休みを利用して、低学年に向けた読み聞かせの様子です。子どもたちが本への関心をもてるよう取組を行っています。子どもたちはよく集中し、反応も抜群です。ボランティアのみなさんの選書のレパートリーも豊富で、子どもたちは、様々なジャンルの本に触れ合うことができます。



この他にも、給食見守りボランティア、交通安全教室見守りボランティアなど、多数の活動にご協力いただきました。

2つ目の柱～あいさつができる児童生徒の育成～

一関小学校と桜町中学校は、ともに「自らあいさつができる児童生徒の育成」を目指しています。昨年度までは、学校ごとに取り組んでいましたが、小学校が先行して取り組んでいた「一斉おはようday」に中学校も参加し、年2回合同で行うこととしました。保護者・地域との連携を推進しながら児童生徒の育成を図っています。

桜町中学校美術部による横断幕のデザイン



一斉おはよう day について

実施日：10月1日と2月4日（年2回）

時 間：児童生徒が登校する時間帯

参加者：1回目(10/1)・・・計114名

2回目(2/4)・・・計108名

あいさつ運動を盛り上げるために、中学校では新たに横断幕を作成しました。美術部の生徒たちがデザインを担当してくれました。「一斉おはようday」に加わることで、美術部の活動の場が一つ増えました。

実施場所が2カ所増えました。(合計 12カ所)

- ① 郵便局前
- ② たつみ酒店前歩道
- ③ ゆうゆうタウン付近交差点
- ④ セブンイレブン樋渡店付近交差点
- ⑤ ちぶや商店付近交差点
- ⑥ 旧岩崎外科付近交差点
- ⑦ 一関小学校裏門側歩車分離式交差点付近
- ⑧ 一関小学校正門・スクールバス降車場付近
- ⑨ 一関小学校裏門
- ⑩ 狐禅寺市民センター下
- ⑪ 桜町中学校Aサン・アビリティーズ一関入口付近
- ⑫ 桜町中学校B正門付近



3つ目の柱～児童生徒の安全向上と感謝の気持ちの育成～

今年度も見守りをしてくださっている地域の方々に「お礼の手紙」を送る取り組みを、第2回一斉おはようdayと同時に行いました。児童一人一人が心を込めて感謝の気持ちを手紙にし、自分の手で渡しました。今年度、中学校では、感謝の気持ちを伝える場面がなかったので、来年度以降、生徒会を中心に検討し、地域の方々にお伝えする方法や機会を設けることができるように進めていきたいと考えています。

「安全のため見守ってくださりありがとうございます」

「体に気をつけてください」

「自分もこれから下級生を見守ります」

2月4日『第2回一斉おはようday』の様子

今後も地域の方々からの協力をいただきながら、感謝の気持ちを込めて自然にあいさつを交わせる児童生徒の育成を推進していきます。

来年度も今年度行った取組を継続する予定です。

